

# 平成30年度(2018年)事業計画

## 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

### I. 基本方針

スペシャルオリンピックス日本(SON)のビジョン体系に基づき、2018年度は以下の方針で事業を実施します。

#### 【2019年に向けたSONのミッション、ビジョン、ゴール】

##### <ミッション>

知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気を奮い、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供すること。

##### <ビジョン>

スペシャルオリンピックスは、我が国における障害者スポーツ推進の一翼を担うために他の団体とも密に連携し、また、各地区組織に根付いた全国的な運動となることを目指す。

##### <ゴール>

- 組織基盤の構築：ビジョン体系の共有、SO日本全体の組織としての能力強化、SO活動を地区に根付かせる
- リソース獲得のための対外アプローチ強化：認知・理解度の向上、資金調達、ボランティア基盤の強化
- 活動の質的向上と量的拡大：スポーツプログラムの充実、アスリート数の増加

### II. 大会の開催・奨励

#### 1. 2018年スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 開催

「2018年SON夏季ナショナルゲーム・愛知」を、主管地区であるSON・愛知が組成した大会実行委員会と共に、地元自治体、企業・団体、大学と連携・協力しながら大会の成功へ向けて準備を進めます。

また、本大会は「2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アブダビ」の国内予選を兼ねて開催します。

開催期間：平成30年(2018年)9月22日(土)～24日(月・祝)

9月22日(土) 開会式

9月23日(日) 競技(予選：ディビジョニング)：各競技会場

9月24日(月・祝) 競技(決勝) / 表彰：各競技会場 / 閉会式

開催地：名古屋市、豊田市、刈谷市など

実施競技：競技を実施(予定)

- ・競泳
- ・陸上競技
- ・バドミントン
- ・バスケットボール
- ・ボウリング
- ・馬術
- ・サッカー
- ・ゴルフ
- ・体操競技
- ・卓球
- ・テニス
- ・バレーボール
- ・フライングディスク

その他：ヘルシー・アスリート®プログラム、選手団交流会、ユニファイドスポーツ®体験、ヤングアスリート・デモンストレーション、「心のスポーツ、アール・ブリュットのちから展」

大会規模：**16,400名**

アスリート 1,000人 選手団役員・コーチ 550人 大会役員・審判 350人  
ボランティア のべ4,500人 ファミリー・応援団 10,000人

**2. 2020年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム並びに2022年スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム 開催準備**

2020年大会開催に向け準備を行ないます。

2022年大会の開催に向け、主管地区の選考を行います。

**3. スペシャルオリンピックス日本 2018年 第3回 全国ユニファイドサッカー大会 開催**

2016年から3年連続の開催となる全国ユニファイドサッカー大会を実施いたします。

今大会は「2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アブダビ」に出場する、ユニファイドスポーツ 7人制サッカーに出場するチームの国内予選を兼ねています。

昨年に引き続き、主管地区がより主体的に大会を開催できるよう支援すると共に、日本サッカー協会や開催地区のサッカー協会との連携・協力体制を取りながら準備を行います。

開催期間：平成30年(2018年)6月頃(未定)

土曜日 競技(予選：ディビジョニング) / 開会式

日曜日 競技(決勝) / 表彰式 / 閉会式

開催地：大阪府

実施競技：7人制サッカー...10チーム

大会規模：アスリート・パートナー120人、コーチ 30人、役員・ボランティア 300人(述べ)

ファミリー・応援団 200人 合計 650人

### Ⅲ. 国際大会派遣事業

#### 1. 2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アブダビ 派遣準備

参加するアスリートが充実したパフォーマンスを行えるよう大会前から支援すると共に、大会期間中の長期間にわたる集団生活や異文化経験、国際交流を通して、参加者一人一人の潜在能力を開花させることを目指します。また、各競技におけるルールの解釈や競技会運営方法についての情報を収集し、国内での競技会開催や競技普及に活用します。

開催地:	アラブ首長国連邦(アブダビ)
派遣期間:	平成31年(2019年)3月8日(木)～3月21日(木) ホスタウンプログラム:3月8日(金)～3月11日(月) 開会式:3月14日(木) / 閉会式:3月21日(木)
結団式:	平成31年(2019年)3月7日(木)
参加者(予定):	170ヶ国・地域 アスリート7,000名、ファミリー5,000名、ボランティア20,000名、 メディア2,000名、ゲスト4,000名
日本選手団:	101名 アスリート69名、コーチ・役員32名
開催競技:	夏季24競技
その他イベント:	ホスタウンプログラム等、その他未定

#### 2. スペシャルオリンピックス ユニファイドフットボールカップ 派遣

SO 国際本部設立 50 周年記念事業として、アメリカ合衆国シカゴで開催される、スペシャルオリンピックス ユニファイドフットボールカップにチームを派遣します。アスリートとパートナーに国際大会参加の機会を広げるとともに、SO 国際本部や支援企業との連携の強化、国内でのユニファイドスポーツの更なる普及を目指します。

開催地:	アメリカ合衆国(イリノイ州ブリッジビュー)
派遣期間:	2018年7月17日(月)～21日(日) 5日間
日本選手団:	未定
参加予定数:	アスリート 192名/パートナー 152名/コーチ 64名/チーム団長 24名(24チーム) 合計 432名

### Ⅳ. SOムーブメント促進

#### 1. 地区連絡協議会、全国事務局長会議

地区連絡協議会および全国事務局長会議等を通じて、全国の地区組織で活動する者のネットワーク創りの場を提供します。

#### 2. 地区組織の認定及び更新、地区組織強化支援事業

SO活動を全国に根付かせ、また、SO及び全地区組織の基盤強化につながるための事業を実施します。

- ・ 地区組織強化支援

⇒ 地区組織情報共有システム(登録制インターネット掲示板)を活用した情報交換、会員管理システム

⇒ 地区組織を対象としたウェブ会議によるNPO法人化支援講座の実施

⇒ 会員管理システムの地区組織への導入促進

### 3. 地区組織自己評価基準の策定および運用

SONの「2019年までのビジョン体系」を具現化した約30項目の地区組織自己評価基準の運用及び見直しを進めます。これにより、SONと地区組織がビジョン及び活動方針を共有し、国内のSO活動の一体性を確保するとともに、地区組織における活動の進捗度を個別に把握することで、活動方針の見直し及び適切な支援に反映します。

### 4. 地区委員会およびブロック連絡協議会の開催

ブロック代表者が出席する地区委員会を、ウェブ会議により毎月開催します。また、全ブロックにおいて、ブロック内の地区組織の事務部門及びスポーツプログラム部門の代表者が出席するブロック連絡協議会を、半年に1回開催します。これらを通じてSONと地区組織、並びに地区組織間のコミュニケーションを促進し、知識・ノウハウを共有することで、SONからの情報伝達力並びに地区組織による現場発の活動推進力を強化します。

⇒ ブロック競技会及び認定コーチ研修会の実施(6ブロックで各1回程度)、コーチクリニックの効率的開催(ブロック内で開催日程・競技を調整して計画)

## V. 指導者養成及びボランティア育成

### 1. 指導者養成

指導者養成のための各種研修事業の実施により、ボランティアコーチの育成と既存トレーナーのレベル及びスキルアップを図り、トレーニングプログラムの質向上や充実を目指します。また、指導者向け資料や教材を作成し、養成事業に活用します。

- ・ コーチクリニック : ボランティアコーチの育成 (約120回開催予定)
- ・ 認定コーチ研修会 : 認定コーチのスキルアップを図る勉強会(6ブロック開催予定)
- ・ コーチアカデミー : 競技団体から講師を招いてのコーチ向けスキルアップ研修会(6ブロック開催予定)

### 2. ボランティア育成

スポーツボランティアを育成する研修会並びにスポーツ団体のネットワーキングを目的とした交流会を実施することによって、地域に根ざした活動となることを目的とする。

- ・ スポーツボランティア研修会 : スポーツボランティアの育成(1回開催予定)
- ・ スポーツボランティアリーダー ライセンス更新講習会 : スポーツボランティアリーダー資格の更新講習会(1回開催予定)

## VI. 知的障害者の支援・育成

知的障害のある本人やその保護者を対象に、生活の質を高めることや、社会参加を促進することを目的としたスポーツに限らない多様なプログラムを提供します。

- ・ ユニファイドスポーツ® : ユニス・ケネディ・シュライバーデーでの全国一斉イベント、ブロック・地区競技会におけるユニファイドスポーツ種目の実施、ユニファイドスポーツ・イベントを積極的に開催することにより、地域でのSO活動支援者を増やす。
- ・ ヘルシーコミュニティー :

→ SO アスリートだけではなく、地域に住む知的障害のある人たちに対し、健診や生活習慣改善プログラムを提供する。既に実施している新潟、名寄、函館にある学校が主体的に進め、フィードバックを行う。

また、次年度へ向けての改善案を検討する。

→ 調査(調査研究委員会と連動)を行う。

→ ナショナルゲーム・愛知での HAP 開催に向けて、開催地の医療専門家の育成を行う。

- ・ ユニファイドスクール、ユースアクティベーション、学校連携プログラム:学校や大学と連携し、若い世代の SO 活動への参加を促す。本年は既に連携している学校と協定書を交わす。また、大学や専門学校の授業の中で認定コーチ資格を付与できる仕組みを作る。
- ・ ライオンズクラブとの協働事業(ユニファイドリレー)

SO イニシアチブ普及活動として、本年は 2018 年 SON 夏季ナショナルゲーム・愛知に関連した、トーチラン(ユニファイドリレー)を行います。本事業を通じて SO の認知向上、地区組織の広報・ファンドレイジング、地域社会の活性化、地区組織とライオンズクラブとの協力関係の強化を図ります。

## VII. 広報・渉外・啓発活動

### 1. 広報・啓発

TV、新聞等のマスメディアや WEB、SNS を用いて SO 認知の向上や SO 参加者とのコミュニケーションを図るための広報活動を行ないます。

- ・ 「2018 年 SON 夏季ナショナルゲーム・愛知」「SON2018 年第 3 回全国ユニファイドサッカー大会」「2019 年 SO 夏季世界大会・アブダビ」の大会を中心とした各種事業を通じた広報活動
- ・ 「トークショー」のチャリティイベントを開催し、参加型の広報活動
- ・ 「ユニファイドスポーツ」をキーとした広報活動
- ・ SON ドリームサポーターを増やし、サポーターを通じた広報活動

### 2. 資金調達(寄付・マーケティング)

財政の安定的基盤を固められるよう企業、個人への資金調達活動を行います。

- ・ 新規法人獲得並びに既存法人寄付の継続維持
- ・ ユニファイドスポーツをはじめとした SO の魅力やリソースを活かした企業連携による資金調達活動

## VIII. 調査・研究・情報収集

調査研究においては、SO 活動の心理・社会分野の継続的調査の他、ヤングアスリートの萌芽的研究を中心に行います。また、アスリートの身体的調査の推進を図るために、地区における体力測定会の実施を視野に入れた基盤整備に取り組みます。

研究発表としては、SO50 周年を記念した公開シンポジウムの開催を通じ、調査研究結果や障害者スポーツに関する情報を提供するとともに、一般公開することにより知的障害者及び障害者スポーツ全般に対する市民の理解促進を図る機会とします。なお、2019 年に SON 設立 25 周年を迎えるにあたり、SO 活動の総括的な研究報告書の発行準備を進めて参ります。

(調査研究)

ヤングアスリートの継続調査

その他、SO 活動の心理・社会分野の継続的調査

アスリートの体力測定会の導入に向けた資料整備（「strive」の翻訳及び日本語マニュアルの作成含む）

（研究発表）

SON 設立 25 周年記念研究報告書の発行準備（編集委員会の編成及び資料収集等）

公開シンポジウムの開催（SO50 周年記念事業）

## IX. 他団体との連携

- ・ スペシャルオリンピックス国際本部、アジアパシフィックリージョナルオフィスとの連絡調整、会議・研修参加
- ・ 全日本知的障害者スポーツ協会他、障害者スポーツ団体への理解促進、連携
- ・ 特別支援学級や特別支援学校との協力関係を構築して互いのリソースを共有することにより、アスリート増加に務める。

## X. 助成

- ・ 地区競技会推進支援制度：SO ブロック大会/ブロック競技会のみを対象に助成
- ・ SO ムーブメント推進事業への特別助成：大会終了後、開催地での更なる SO 活動の発展を支援するためのナショナルゲーム主管地区に対する助成（SON・新潟）

以上